

「全国学力・学習状況調査」の結果

○問合せ先 学校教育課 ☎内線 347

平成 19 年度から実施されている「全国学力・学習状況調査」が、今年度も 4 月 20 日に実施され、国語、算数・数学の学力調査と、生活習慣や学習環境に関する質問紙調査が行われました。本市からは、抽出および希望利用方式により、小学校 6 年生および中学校 3 年生を対象に市内全小・中学校が調査に参加しました。7 月末に公表された結果の中から本市の状況をお知らせします。※この調査は、学力のすべてを測定したものではありません。

	学力調査	質問紙調査
成果	<p>〈小学校〉 国語…読むことや書くことにかかわっての基礎的な力が身についている。また、活用する力が伸びてきている。 算数…数量関係や四則計算、図形の性質について、よく理解できている。</p> <p>〈中学校〉 国語…人物の心情や文脈に即した語句の意味の読みとりなどがよくできている。また、活用する力が伸びてきている。 数学…数量、図形に関する内容がよく理解できている。</p>	<p>○就寝・起床時刻は、小・中学生ともに良好で、規則正しい生活を送っている。 ○家庭学習の時間が年々増えてきている。 ○家庭での読書は、中学校でポイントが上昇し、家庭での読書推進が図られてきている。 ○地域行事への参加や、近所の人へのあいさつがよくなされている。小・中学生ともに全国や県を大きく上回っている。 ○小学校では将来の夢や目標を持つ児童が増え、中学校では全国や県より夢や目標を持つ生徒の割合が高い。 ○中学校では学校のきまりを守る生徒、友達との約束を守る生徒の割合が極めて高く、規範意識が高い。</p>
課題	<p>〈小学校〉 国語…文と文との意味のつながりを考えて文章を書くことや、文章全体の構成の効果を考えて自分の考えを書き表すことに課題がある。 算数…数学的な考えを文章で説明して解答することに課題がある。</p> <p>〈中学校〉 国語…読み取ったことをもとに自分の考えを書いたり、必要な情報を取り出して、それについての自分の意見を書いたりすることに課題がある。 数学…分数を含む一元一次方程式を解くことや具体的事象における一次関数の関係を立式することに課題がある。</p>	<p>○テレビやビデオの視聴については、全体的に改善されつつある。しかし、中学生では毎日 2 時間以上視聴する割合が全国や県よりもやや高い。</p>
改善策	<p>○今回の結果をもとに各学校で「学力向上プラン」の見直しを行い、基礎・基本の徹底を図るとともに、教えることや考えさせることを明確にした授業改善を推進する。 ○国語では、条件に従って自分の考えを書いたり、自分の意見をまとめたりするような学習活動の充実や日常生活とのつながりを意識した言語活動を位置づけた指導を行う。 ○算数・数学では図や式や言葉を使って自分が考えた解き方を説明したり、身につけた知識・技能を活用したりする算数・数学的活動の充実を図る。 ○知識や技能の習得については着実に力がついてきている。今後は、それらを生活や学習の中で活用する場をより多く設定し、思考力・判断力・表現力などを育む。</p>	<p>○各学校で作成している「子どもの学びの習慣化」(注)をもとに、さらに学校と家庭が連携して家庭学習、読書、パソコンやゲームなどの時間について、考えていくことが必要である。 ○家庭学習については、学年ごとに取り組む時間のめやすを決めるとともに、その日の授業と連動した復習や次の日の授業の予習をさせるといった学習内容の工夫が必要である。</p>

※注 「子どもの学びの習慣化」 4 つの提言

①家で勉強をする。 ②朝食をしっかりとる。 ③適切な睡眠をとる。 ④テレビの視聴やゲーム、携帯電話、パソコンはルールを決めて行う。

<第1弾> 地元購買促進運動 ～見直そう！地域のお店～

○問合せ先 商工課商工振興係 ☎内線 243

市では「地元のお店を利用しよう」を合い言葉に「地元購買促進運動」を展開します。

地元のお店は地域に無くてはならない存在であり、市民皆さんと一緒に必要性についても考えていく必要があります。また、中心にあたる松浦駅周辺では「まちなか活性化基本計画」を策定するため、地域の人々の意見を取り入れていくこととしています。

地元購買を促すために「松浦市共通商品券の発行」や商品券加入店舗の独自のサービスを取り上げPRする「プラス1サービス事業」、商工会議所や商工会などで取り組む「商店街活性化事業」などを行っていきます。

10月号では本市の消費動向の現状をお知らせします。

【平成21年度消費者購買実態調査結果】

長崎県では3年ごとに県内消費者の購買動向についてアンケート調査が行われており、平成21年度消費者購買実態調査の結果が公表されました。

【各市の結果】

(単位：%)

市町名	H 21	H 18	増減率
長崎市	80.0	85.9	▲ 5.9
佐世保市	75.8	80.6	▲ 4.8
島原市	77.8	84.9	▲ 7.1
諫早市	69.1	74.3	▲ 5.2
大村市	81.4	83.8	▲ 2.4
平戸市	48.8	52.9	▲ 4.1
松浦市	34.7	44.8	▲ 10.1
対馬市	78.3	81.9	▲ 3.6
壱岐市	79.2	88.0	▲ 8.8
五島市	80.4	91.6	▲ 11.2
西海市	38.4	40.4	▲ 2.0
雲仙市	56.5	58.7	▲ 2.2
南島原市	69.7	70.3	▲ 0.6

松浦市の地元購買率は

34.7% となっています

(地元購買率とは消費者が住んでいる地域で買い物をする割合)



松浦市のH21年地元購買率は、H18年に比べて▲10.1%落ち込んでいるんだね！
どうしてなんだろう？
地理的な理由も、あるのかな？

地元購買率は、長崎県内各地をみても、ほとんどの地域で低下しています。

【松浦市民の主な買物先】

(単位：%)

長崎市内	佐世保市内	佐々町	松浦市			佐賀県			その他県外	通信販売	その他
			旧松浦市	旧福島町	旧鷹島町	伊万里市	唐津市	その他の地区			
0.2	12.3	3.2	19.2	12.7	2.8	29.0	9.8	1.0	2.2	3.3	3.9

本市の地元購買率が低い理由の中には佐賀県の割合が多いことから、地理的な理由も考えられます。

※詳しい調査結果については、長崎県ホームページに掲載されています。

<http://www.pref.nagasaki.jp/kinyu/shokin/chousa21/index.html>

松浦市の商店街では「近いから」「店の人と親しい」という理由で
お買い物先に選ばれているようです！
心が通い合うお買い物ができるんだね！



ちびっ子まちなか探検隊募集！



これから、僕と一緒に松浦市の商店街について、いろいろ勉強してみませんか？
市報まつら3月号までの間、頑張る商店街（志佐地区）を探検します！
※まちなか活性化計画策定のため、今回は志佐地区とします。
意欲があるちびっ子の応募をお待ちしています！
詳しくは、上記へお尋ねください！